

海外林業研究会々員の広場

熱帯林業誌の紙面サイズ及びと誌名変更についての アンケート調査結果

先に会員各位にお知らせしました通り、「熱帯林業」誌についての紙面サイズ及び誌名について変更案アンケート（次頁）を実施いたしましたところ、唐突であったにもかかわらず有志の方々から回答をいただきまして、ありがとうございました。回答内容は以下の通りがありました。

回答結果（会員回答数 20名（発送数300通）、総会参加者回答数 6名）

A：紙面大版化について

- ① 現状（A5判） 2名
- ② A4判 13名
- ③ A4特判 9名
- ④ その他 A4又はA4特判 2名

B：誌名について

- ① 現状（熱帯林業） 3名
- ② 海外林業 16名
- ③ その他 海外森林・林業技術、海外林業技術、国際林業、国際森林科学、世界の森林、世界の森林・林業、地球の森林 以上各1名

以上の結果を受けて、70号編集委員会で検討をいたしました。その結果、回答数は少ないけれど、紙面サイズ及び誌名の変更について、おおむねの方が賛成である判断しました。しかし、回答数があまりに少ないこともあります、今後さらに読者の皆様の意向を調査した上で、本年中に最終判断をすることになりました。

そこで、本誌冒頭の差し込みカラーページに調査アンケートを掲載しましたので、その要領に沿ってご意見を編集係へご連絡いただけますようお願いします。

（熱帯林業編集委員会）

(資料) アンケート調査票

熱帯林業誌の大版化と誌名変更についてのアンケートのお願い

「熱帯林業」編集事務局

熱帯林業研究会々員、読者の皆様から、○現在の雑誌を大版化すること、○雑誌名を変更することなどの希望が往々寄せられております。

そこで皆様のご意見を伺い、その結果について熱帯林業編集委員会にて検討を踏まえて対応したいと考えております。なお新たな対応をする場合は2008年以降と考えています。

A : 雑誌サイズ変更

目的と主な変更点；①公式書類のA4判化に対応、②大版化で、文字(0.5～1.0ポイント上げる)、写真、図表が大きくなり、読みやすくなる。③印刷上の画一化に同調でき、印刷費用は変わらない。④総ページ数は現在の平均ページ数(83P.)が3/4(60～65P.)ページ程度になる。

B : 誌名について

紙面の大版化を機会に、誌名の変更も検討してみたい。理由は沙漠化防止、違法伐採、気候変動などの国際協力記事は、熱帯(+亜熱帯)地域に限らず、温帯や亜寒帯も対象となり、そうした地域での活動報告も多くなってきているので、この際雑誌名「熱帯林業」から熱帯地域以外も含めた誌名にする。

一つの案として、例えば海外林業(Japan International Forestry (Magazine))、海外林業技術(Japan International Forestry Techniques)等が考えられる。

-----切取り線-----

希望する番号に○をつけてください。

A : 雑誌のサイズについて

1 : A5判(現状のまま) 2 : A4判

3 : A4特判(A4より縦が約2cm短い、学会誌や欧米の雑誌に多い)

4 : その他 _____

B : 雑誌名について

1 : 热帯林業(現状のまま)

2 : 海外林業

3 : その他 _____

その他熱帯林業誌に対してご意見、コメントなどございましたら、自由にお書きください。